

令和 7 年度第 2 回甲賀市介護保険運営協議会 概要報告

1. 開催日時 令和 7 年 1 0 月 3 1 日（金）
午後 2 時 0 0 分～午後 3 時 2 0 分
2. 開催場所 あいこうか市民ホール練習室 3
3. 出席者
委 員 栗田会長、今村（陽）副会長、富岡委員、富田委員、宇田委員、
岡田委員、松宮委員、小川委員、服部委員、福西委員、今村（慎）委員、
奥嶋委員、合屋委員、堀井委員 （出席 1 4 名・欠席 2 名）
事務局 健康福祉部 部長 北田聖一
次長 村田稔明
長寿福祉課 課長 森田喜浩
課長補佐 棚橋倫子、中邨雅治
室長（地域包括支援室） 中村美雪
係長 奥村浩司、大塚侑吾、今村知恵
主査 齋藤仁美
（株）ぎょうせい 今中英二、安井愛実、八尾導孝
4. 傍聴 無
5. 会議次第
 - 1) 開会
会長あいさつ
 - 2) 諮問
諮問書交付
 - 3) 議事
 - ①第 1 0 期介護保険事業計画・高齢者福祉計画策定方針について
 - ②アンケート調査について
 - 4) その他
6. 配布資料
【資料 1】甲賀市第 1 0 期介護保険事業計画・高齢者福祉計画策定方針
【資料 2】高齢者福祉計画・介護保険事業計画に向けたアンケート調査について
【資料 2－1】介護予防・日常生活圏域ニーズ調査票
【資料 2－2】在宅介護実態調査票
【資料 2－3】事業所調査票

【資料２－４】ケアマネジャー調査票

【参考１～５】前回調査資料

７．議事の概要

議事

（１）第１０期介護保険事業計画・高齢者福祉計画策定方針について

事務局 資料１に基づき説明

会長 ただいま説明いただいた件について、ご意見、ご質問等があれば挙手をお願いしたい。
(特になし)

議事

（２）アンケート調査について

事務局 資料２、２－１～４、参考資料に基づき説明

ニーズ調査と在宅介護実態調査については、市独自設問の内容について、事業所調査とケアマネジャー調査については、全体についてご審議いただきたい。

会長 ただいま説明いただいた件について、ご意見、ご質問等があれば挙手をお願いしたい。まず、私から一つ質問させていただきたい。ケアマネジャー調査のＰ３、４の間５、間６はサービスの項目を減らすということだが、サービスの項目を減らさないで、WEB版を３サービスずつで１頁とするなどの方法により対応できるのであれば、その方が良いと思う。前回と同じように手厚くされるのも一つの案かと思うので検討願いたい。

委員 前回調査時のアンケート回収率は、在宅介護実態調査が５８％程だが、回収率をもっと上げられないか。調査をするという情報の拡散が難しかったのか、対象者のうち、協力していただける方が少なかったのか。背景を教えてください。７０％、８０％をめざしていきたい。

事務局 前回調査の回収率が低かったことの分析はできていない。無作為で対象者を決めるので、対象者の範囲は決まっているが、こういった方のところに届いたのかといったことがわからないのが現状。

委員 各自治振興会を通じて依頼するとか、情報を拡散する方法が取れないかとも思う。

事務局 この調査は、対象者の方に、直接郵送する。市民全体を対象とした調査ではなく、認定を受けている方が対象なので、自治振興会など他機関を通じて依頼するのは難しい。

会長 一般的に、無作為抽出のアンケートでの回収率５０％以上は高い方と思う。この領域のアンケートではどうなのか、受託業者としてはどのように把握しているか。

事務局 他自治体と比較して、甲賀市の第９期の回収率は高いと思う。

(株) ぎ
ようせい)

- 会長 どうしても、ということであれば、調査項目が増えるのもよくないが、アンケートの配布、様式、内容についての意見をたずねることもできる。対象者だけしか意見が言えないわけだが。全体の項目数との兼ね合いで検討いただきたい。
- 委員 資料２－１「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査票」の８ページ目「問６ 就労について」のＱ１－１「何歳まで働きたいと思うか」の設問について、抽象的で答えにくいように思う。私の施設で働いている７５歳の方は、８０歳や８５歳といった区切りの考えは持っておられない。例えば「働ける環境があれば働きたい」や「身体が元気なうちは働きたい」など、現在の選択肢にあてはまらない声があると思う。
- 事務局 選択肢としての項目に変えることは可能。修正を検討する。
- 委員 高齢の方はパートであってもなかなか採用されないという現実があるため「働ける環境があれば働きたい」という意向をたずねたい。また、介護予防に力を入れているのだから、「身体が元気なうちは働きたい」という意向もたずねたい。意見をくみ取りやすい設問にしてほしい。「何歳」とだけたずねるこの書き方だと、さっと読み流されてしまう。
- 会長 今すぐに回答は難しいと思うので、持ち帰って事務局で検討いただきたい。
- 委員 ケアマネジャー調査の問５、問６は、スクロールだけの問題であれば、このまますべてのサービスについて、入れておいていただけたらと思う。入所の申請者が限られてきており、他にもニーズがあるのか、知りたいと思っている。
- 副会長 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査は、そもそも何に使うものか。国の施策だと思うが、ニーズ調査と言いながら、実態調査に近いと思う。在宅介護実態調査は要介護の方の実態を把握するということである。ニーズ調査も甲賀市全体の一般高齢者はこういう状態であるというのを分析するためのものか。その目的は何か。
- 事務局 資料２の２（１）に上げている内容を、国が保険者に把握するよう求めている。調査結果をどう活かすかが保険者には求められているので、他自治体との比較などをして活用していきたい。
- 副会長 個人情報保護の兼ね合いもあって難しいかもしれないが、例えば、初期の認知症の方は、家族から見ても早期に症状を発見することを難しく、自動車運転免許の更新時に病院受診を勧められ、医師にかかるというケースがある。せっかくこのようなアンケートを行うのであれば、初期症状のありそうな方を特定して、その回答者に教えてあげて、早期発見・早期治療へのアプローチとして活用できないか。個人個人のデータを有効に活用していけるのではないかと思う。
- 委員 資料２－２「在宅介護実態調査票」の７ページ目の「問８」で「あてはまるものをすべて選んでください」が２回書かれているので訂正をお願いしたい。それと、この設問は本人の認知症が進んだ際の不安を聞いているが、選択肢５に「介護が負担で虐待をしてしまうか不安」というものを追加するのはどうか。
- 委員 介護の現場でも、そのような声を聞くことがある。
- 事務局 選択肢を入れさせていただく。

- 会長 副会長のご意見については、個人に結果をお返しすることは、今回のアンケートではできるかどうか分からないが、次回の計画策定のアンケートでの検討課題とさせていただく。
- 委員 資料２－３「事業所調査票」の２ページ目の問２－２で外国人介護職員の設問があるが、現場では、介護福祉士の資格を取得した外国人職員も出てきており、選択肢を増やしてはどうか。問８も同様。
- 委員 資料２－１「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査票」の１２ページ目のＱ３では「認知症になった場合、どんな支援があると安心か」と聞いているが、選択肢の内容は一般的で、他人事のように感じる。「相談できる人が身近にいるか」など、もっと具体的な選択肢を入れてほしい。近所には独居で認知症の症状が見られる方もいるが、声かけをしても「放っておいてほしい」と言われることもあり、それが嫌で声をかけてあげられず対応に遅れが出てしまうことも危惧している。認知症の方を支援に結びつけるための細やかな拾い上げが必要だと感じる。
- 会長 この設問が何を意図しているかにもよるが、今言われた「相談できる人が身近にいるか」を加えることに今後に生かせる意義があるのであれば加えたらいいと思う。大事な視点だと思う。
- 事務局 加えるかどうかも含め、検討させていただく。「相談できる人が身近にいるか」、という選択肢を追加することは可能。
- 委員 甲賀市内では、市と社協と民間の３つの形態の地域包括支援センターが共存している。そこで働くケアマネジャーが市の職員であるか、社協の職員であるかといった違いによって、住民に対する対応の仕方で問題があることはないのか。
- 事務局 「地域包括支援センターもアンケートの対象にするべきである」ということであれば、地域包括支援センターは市の機関として位置づけているので、アンケートの対象とすることは考えていない。
- 委員 民間のケアマネジャーと市の地域包括支援センターのケアマネジャーは同じ立場ではないと思う。
- 事務局 地域包括支援センターは５か所あり、３か所を民間に委託している。委託をしているので、市の機関と市ではみている。
- 委員 直営と民間の違いをケアマネジャーが指摘することはないのか。
- 事務局 「地域包括支援センターについての意見」については、ケアマネジャーアンケートの問１９に連携がとれているかをたずねている。
- 委員 ケアマネジャーの身分によって差がでてこないのか。社協は信楽と甲賀の地域包括支援センターを受託している。市の職員でないことに違和感を感じている。
- 事務局 今回の調査は居宅介護支援事業所のケアマネジャーに対して行うものであり、委託している地域包括支援センターのケアマネジャーに対しては、別の形で聴き取り等をさせていただければと思う。
- 委員 この調査は、地域包括支援センターのケアマネジャーは対象外という理解でいいか。
- 事務局 対象外。地域包括支援センターに配属されている職員は、主任ケアマネジャー、保健師、社会福祉士。ケアマネジャーという位置づけではない。
- 委員 ケアマネジャーという位置づけでないのであれば、なぜ、地域包括支援センターと連携しているかという項目を設けたのか。

事務局 居宅介護支援事業所と地域包括支援センターの連携は非常に重要なため、項目を設けた。

委員 地域包括支援センターの民間の職員のことは気にかかっている。

事務局 地域包括支援センターの民間の職員とコミュニケーションをとるようにはしていきたい。

会長 他にご意見、ご質問等があれば挙手をお願いしたい。（挙手無し）
なければ、本日の意見を基に、各資料の修正を検討する。修正については私、会長に一任して頂いてもよろしいか。

全委員 （了承）

その他

事務局 次回の協議会は、令和8年3月に開催する予定。
日程は調整中のため、決定後連絡させていただく。次回が最後の協議会。
内容は、アンケート調査の結果の概要報告をさせていただく予定。

・ 会議内容の公開又は非公開について

事務局 本日の会議内容の公開・非公開について、当協議会は市の附属機関にあたるので公開が原則となる。本日の会議で個人情報等非公開にしなければならない内容は含まれていないのですべて公開とし、議事録での発言者は個人名ではなく委員として公開することとしてよろしいか。

全委員 （了承）